

# 2022年3月期 決算説明資料

株式会社キトー（6409）

2022年5月16日

# 2022年3月期 サマリー

(単位：百万円)	2021/3 期	2022/3 期	前期比	2019/3期 (ご参考)
<b>売上高</b>	51,805	<b>62,506</b>	20.7%	61,238
<b>営業利益</b>	4,457	<b>6,184</b>	38.7%	6,413
<b>経常利益</b>	4,550	<b>6,415</b>	41.0%	5,748
<b>当期純利益※</b>	2,344	<b>4,563</b>	94.7%	4,064

※親会社株主に帰属する当期純利益

- 北米・欧州の急速な需要回復を受け、工場は増産体制を継続
- 資材調達先、輸送路等、サプライチェーン確保により、顧客サービス維持に注力
- 資材費、輸送費等高騰による利益影響が顕在化
- 売上高、および経常利益、当期純利益は2019/3期の過去最高を更新

1

## 2022年3月期 決算報告

2

## 2023年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 2022年3月期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2020/3期	2021/3期	2022/3期	前期比
売上高	58,722	51,805	<b>62,506</b>	+20.7%
売上総利益 売上総利益率	21,979 37.4%	18,724 36.1%	<b>22,731</b> <b>36.4%</b>	+21.4%
営業利益 営業利益率	5,474 9.3%	4,457 8.6%	<b>6,184</b> <b>9.9%</b>	+38.7%
経常利益 経常利益率	4,991 8.5%	4,550 8.8%	<b>6,415</b> <b>10.3%</b>	+41.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	3,204 5.5%	2,344 4.5%	<b>4,563</b> <b>7.3%</b>	+94.7%
EBITDA =営業利益+償却費	8,508	7,503	<b>9,148</b>	

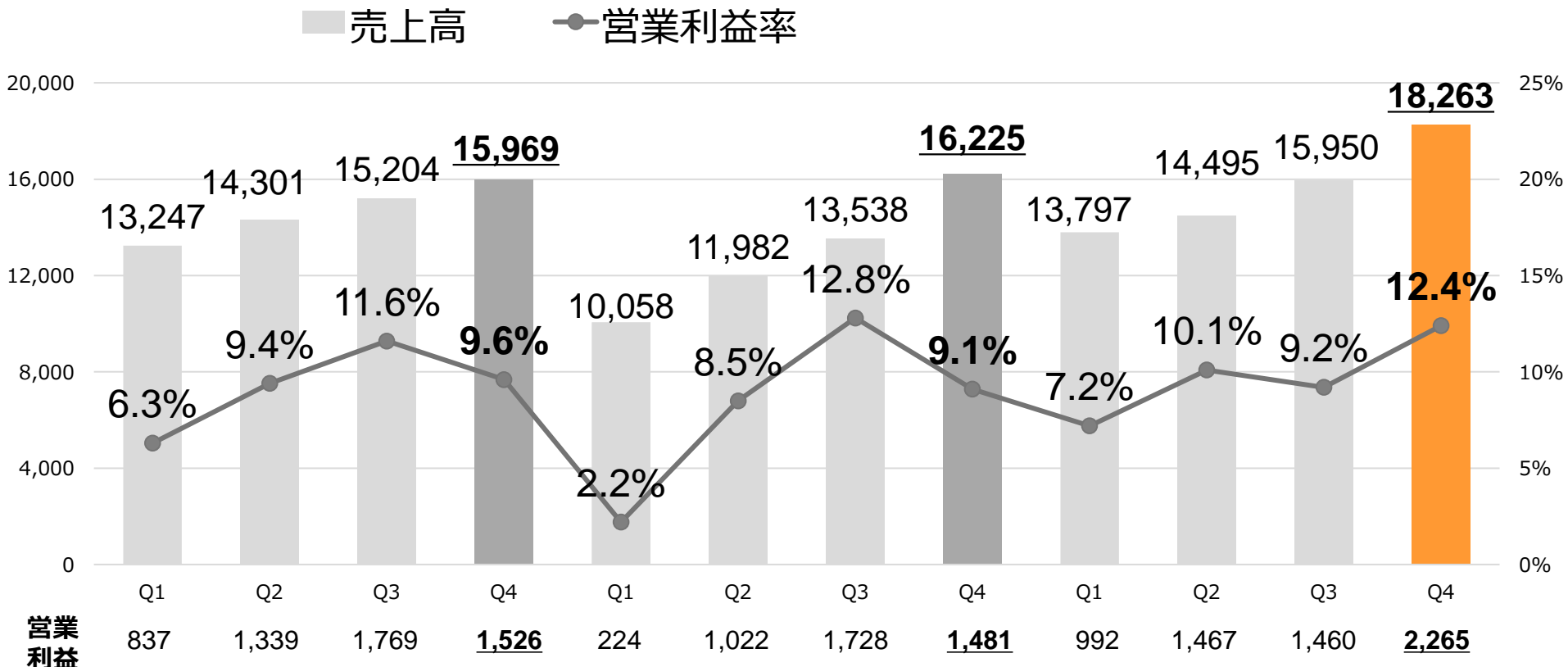
注 為替レート (2021/3期→2022/3期) :

USD 106.1→112.4円 CAD 80.3→89.7円 EUR 123.7→130.6円 RMB 15.5→17.0円

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

景気回復による需要増を捉え、売上高は過去最高を記録  
 営業利益は2019/3期に次ぎ過去2番目

(単位：百万円)



営業利益

**2020/3期**  
 売上高 58,722  
 営業利益 5,474

**2021/3期**  
 売上高 51,805  
 営業利益 4,457

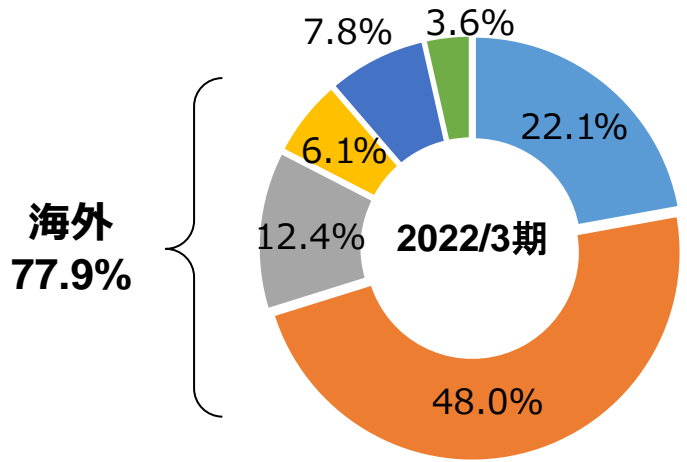
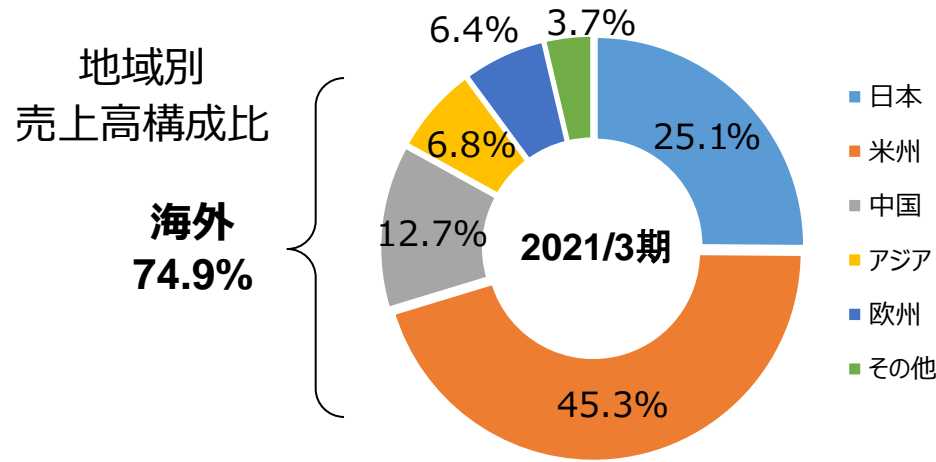
**2022/3期**  
 売上高 62,506  
 営業利益 6,184

# 地域別の状況

(単位：百万円)	2020/3期		2021/3期		2022/3期		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	58,722	100.0%	51,805	100.0%	62,506	100.0%	10,701	20.7%
<b>日本</b>	15,174	25.8%	13,012	25.1%	13,841	22.1%	829	6.4%
<b>米州</b>	27,332	46.6%	23,409	45.3%	30,025	48.0%	6,615	28.3%
<b>中国</b>	6,822	11.6%	6,596	12.7%	7,747	12.4%	1,150	17.4%
<b>アジア</b>	3,729	6.4%	3,546	6.8%	3,823	6.1%	276	7.8%
<b>欧州</b>	3,467	5.9%	3,326	6.4%	4,848	7.8%	1,522	45.8%
<b>その他地域</b>	2,196	3.7%	1,913	3.7%	2,220	3.6%	306	16.0%

注 為替レート (2021/3期→2022/3期) :

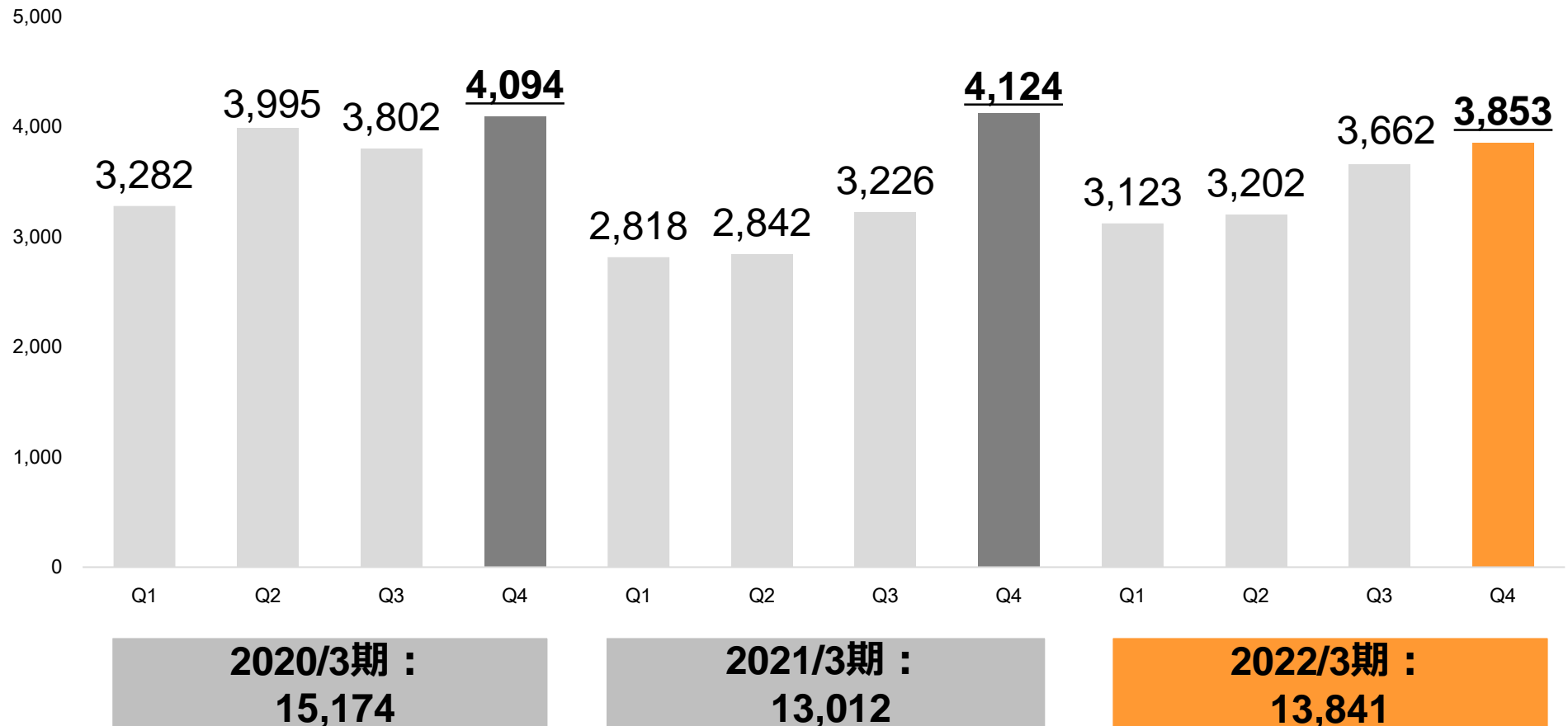
USD 106.1→112.4円 CAD 80.3→89.7円 EUR 123.7→130.6円 RMB 15.5→17.0円



# 地域別売上高（日本）

- 長期に渡った緊急事態宣言下においても、需要は緩やかに回復
- インフラ投資、民間設備投資の両面において、さらなる需要拡大に期待

（単位：百万円）



# 地域別売上高（米州）

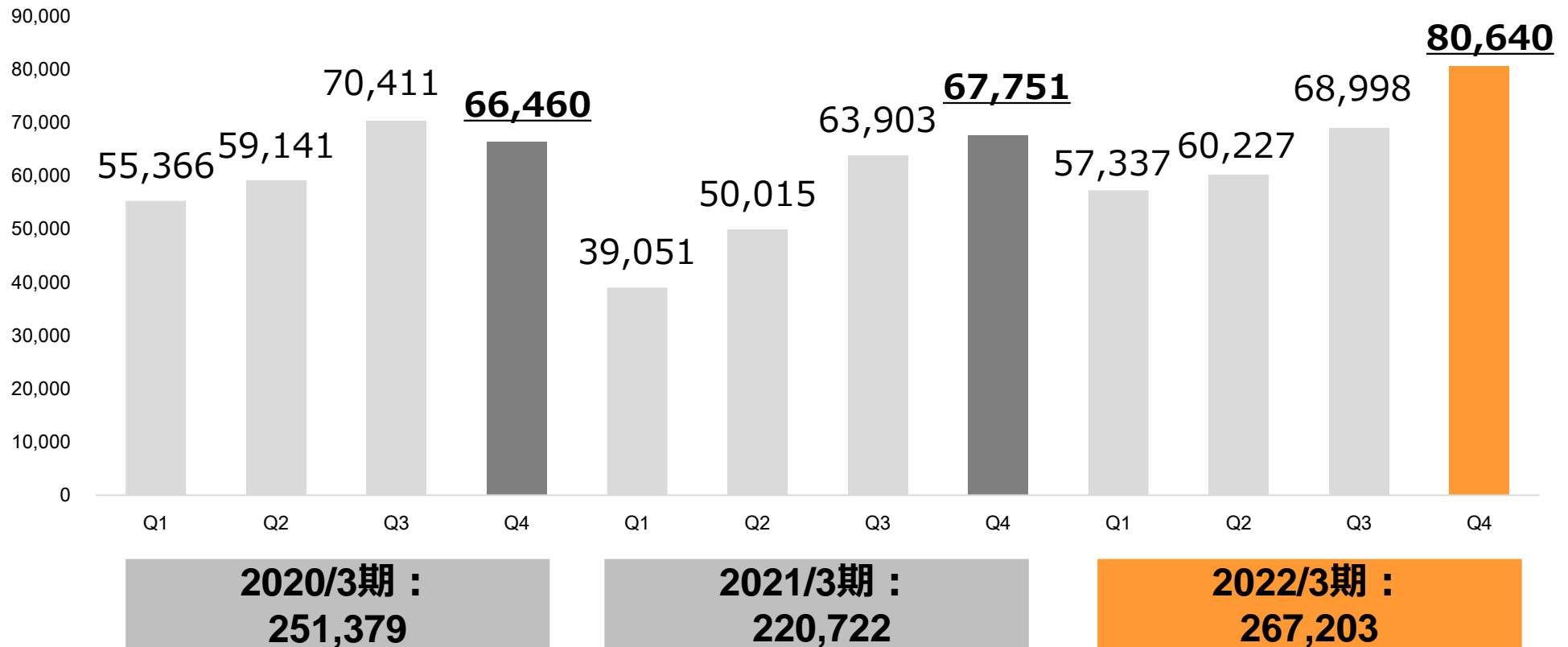
※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

## ◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 経済活動の回復を受けて需要が急拡大、売上、利益とも過去最高の業績を記録
- 物流の混乱も、製品供給をはじめ、サービスレベル維持に注力。

（単位：千USD）





# 地域別売上高（中国）

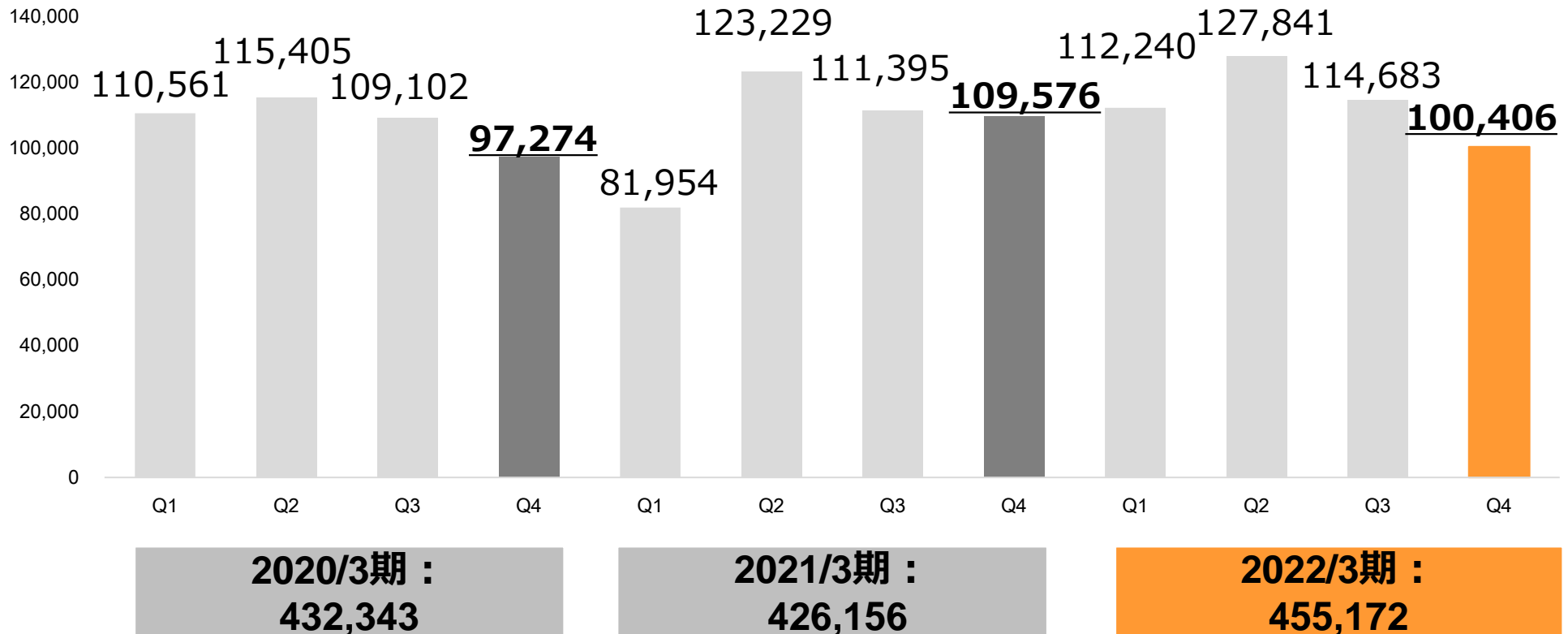
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 昨年来、内需を中心とした需要動向は堅調

（単位：千RMB）



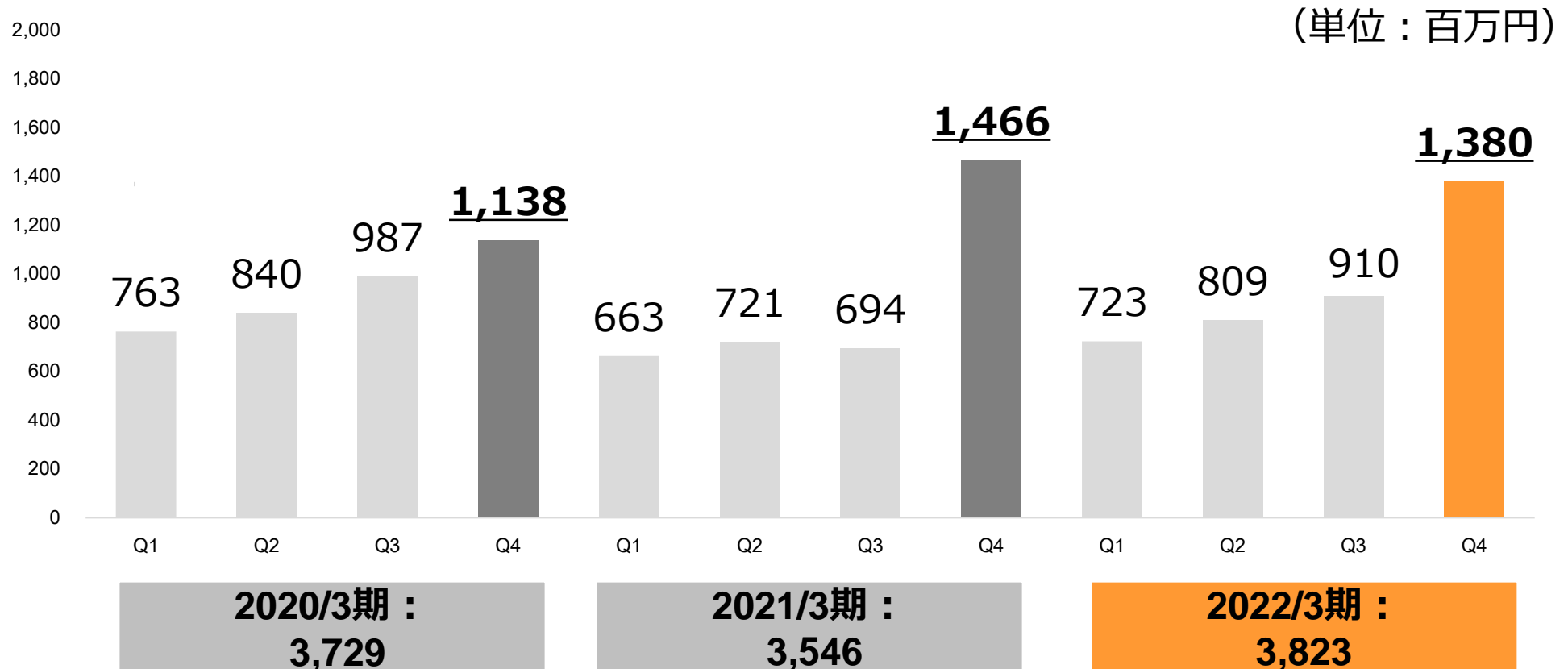
# 地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

主軸のタイ、韓国でクレーン事業を手掛ける。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

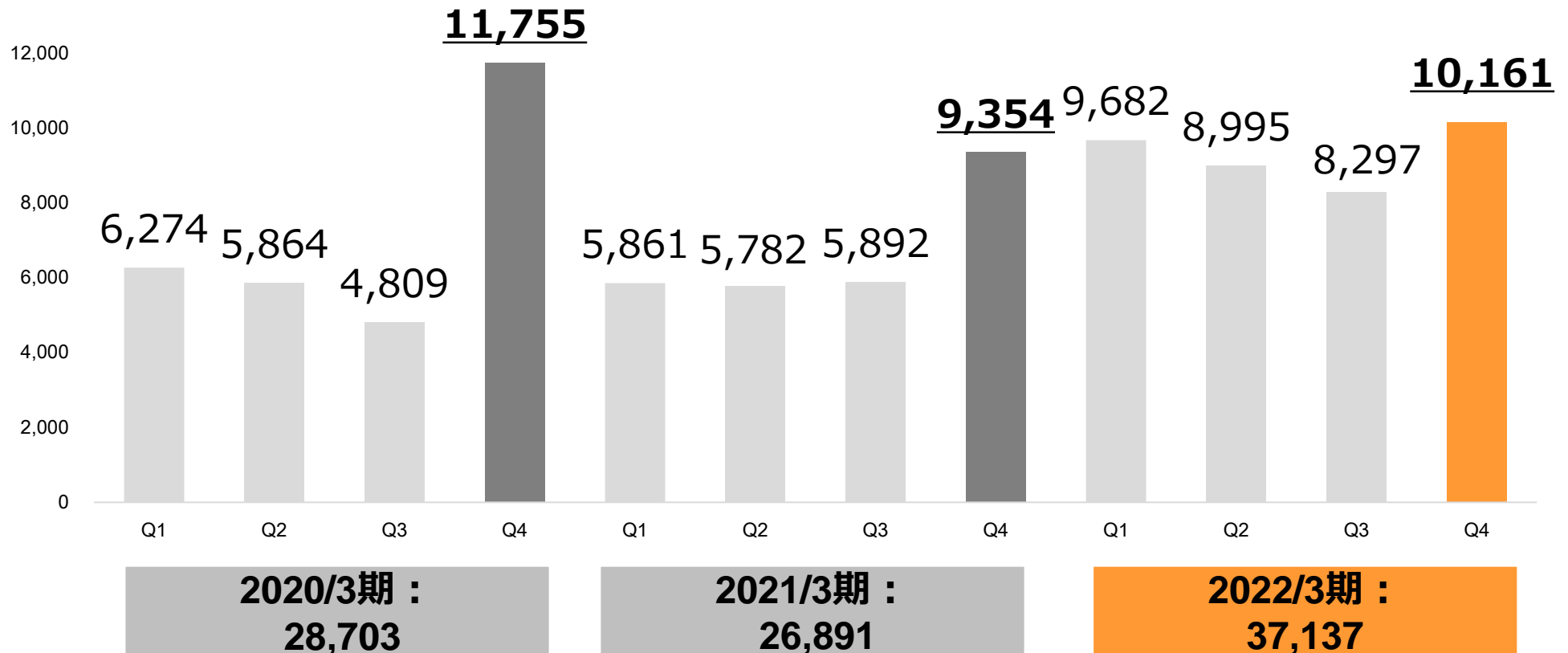
- 経済活動の制約解除とともに、需要環境は緩やかに回復



# 地域別売上高（欧州）

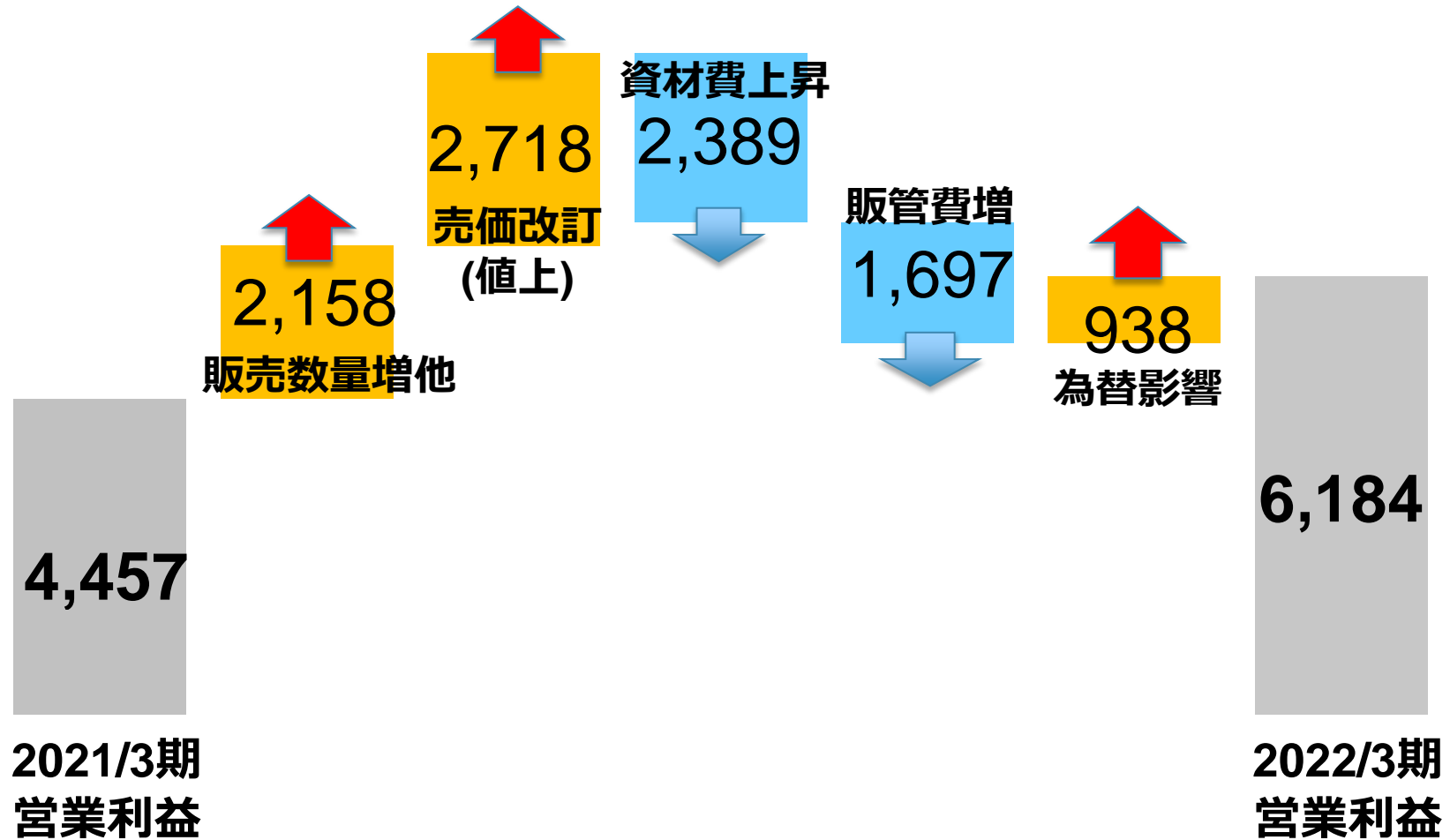
- 競合との差別化による着実な市場浸透により、拡大する需要を捉える
- 資材費、エネルギー価格の高騰による利益影響が顕在化

（単位：千EUR）



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2022/3期 連結貸借対照表 (前期比)

単位：百万円	2021/3期	2022/3期	増減額	単位：百万円	2021/3期	2022/3期	増減額
<b>流動資産</b>	43,735	47,450	3,715	<b>流動負債</b>	23,011	20,908	△ 2,102
現金及び預金	13,734	11,269	△ 2,465	支払手形及び買掛金	5,028	7,528	2,499
受取手形、売掛金及び契約資産	11,369	13,041	1,671	短期借入金*	11,983	5,243	△ 6,740
棚卸資産	17,341	21,512	4,170	その他	5,998	8,137	2,138
その他	1,289	1,627	338	<b>固定負債</b>	11,488	14,534	3,045
<b>固定資産</b>	21,332	25,039	3,707	長期借入金	7,894	10,437	2,543
有形固定資産	12,628	15,721	3,093	その他	3,594	4,096	502
無形固定資産	5,003	4,738	△ 264	<b>純資産合計</b>	30,567	37,047	6,479
投資その他の資産	3,701	4,580	878	<b>負債純資産合計</b>	65,067	72,490	7,422
<b>資産合計</b>	65,067	72,490	7,422				

\* 1年内返済予定の長期借入金を含む

# 連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	2021/3期	2022/3期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	6,662	7,825	1,162
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,300	△4,552	△2,252
財務活動による キャッシュ・フロー	△82	△6,183	△6,100
現金及び現金同等物 に係る換算差額	147	455	307
現金及び現金同等物 の増減額	4,427	△2,455	△6,883
現金及び現金同等物 の期末残高	13,725	11,269	△2,455

## <2022/3期の主な内容>

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益：	6,275
減価償却費：	2,647
売上債権の増加：	△679
棚卸資産の増加：	△2,832

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出：	△4,166
無形固定資産の取得による支出：	△357

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入れによる収入：	6,004
短期借入返済による支出	△12,692
長期借入れによる収入：	6,822
長期借入金返済による支出：	△4,959

1

## 2022年3月期 決算報告

2

## 2023年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 2023年3月期 業績予想

- 活況な需要を着実に取り込み、過去最高の業績を目指す
- ECサイト強化など、更なる顧客サービス拡充を推進
- 環境に配慮したサプライチェーン、安全な作業環境提供など、広く社会に貢献する

(単位 百万円)	2022/3期	2023/3期 (予想)	前期比
売上高	62,506	70,000	12.0%
営業利益 営業利益率	6,184 9.9%	6,500 9.3%	5.1%
経常利益 経常利益率	6,415 10.3%	6,400 9.1%	△0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	4,563 7.3%	4,200 6.0%	△8.0%
EBITDA =営業利益+償却費	9,148	9,400	2.8%
設備投資	4,523	5,800	

注 為替レート (2022/3期→2023/3期) :

USD 112.4→120.0円 CAD 89.7→100.0円 EUR 130.6→135.0円 RMB 17.0→20.0円



**日本** 売上予想 15,000百万円（前期比+8.4%）

- 市場環境**
- 都市開発、公共工事に伴うインフラ関連工事が顕在化
  - 中小企業を主体とした景気回復に期待
- 取り組み**
- 専任営業による大型物件への営業力強化
  - リプレイス需要の着実な取り込み
  - ECサイトの拡充・推進によるさらなる顧客サービスの向上

**米州** 売上予想 32,500百万円（前期比+8.2%）

- 市場環境**
- 民間、インフラ関連投資ともに力強い需要動向が継続
  - 資材費高騰、物流の混乱、労働力不足問題は引き続き注視
- 取り組み**
- 競合との差別化を図り、シェアUPと市場拡大との相乗効果を狙う
  - 販売価格の見直し、製品の安定供給と顧客サービス維持に注力

## 中国 売上予想 9,200百万円（前期比+18.8%）

- 市場環境** - 環境、品質に対する意識の高まりによりシェア拡大傾向
- 取り組み** - 安全価値の訴求による差別化戦略強化

## アジア 売上予想 5,300百万円（前期比+38.6%）

- 市場環境** - 韓国の液晶関連需要は回復傾向  
- 長期に渡る経済活動の足踏み状態からの脱却
- 取り組み** - クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化  
- タイ、韓国における顧客基盤拡大を推進

## 欧州 売上予想 5,600百万円（前期比+15.5%）

- 市場環境** - 地政学的な懸念はあるも、需要動向は堅調  
- エネルギー、資材価格高騰の影響に注視
- 取り組み** - グループ会社間連携による相乗効果で、さらなる事業拡大

# 2023年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2022/3期		2023/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	62,506	100.0%	70,000	100.0%	7,494	12.0%
<b>日本</b>	13,841	22.1%	15,000	21.4%	1,159	8.4%
<b>米州</b>	30,025	48.0%	32,500	46.5%	2,475	8.2%
<b>中国</b>	7,747	12.4%	9,200	13.1%	1,453	18.8%
<b>アジア</b>	3,823	6.1%	5,300	7.6%	1,477	38.6%
<b>欧州</b>	4,848	7.8%	5,600	8.0%	752	15.5%
<b>その他地域</b>	2,220	3.6%	2,400	3.4%	180	8.1%

注 為替レート (2022/3期→2023/3期) :

USD 112.4→120.0円 CAD 89.7→100.0円 EUR 130.6→135.0円 RMB 17.0→20.0円

1

2022年3月期 決算報告

2

2023年3月期 見通し

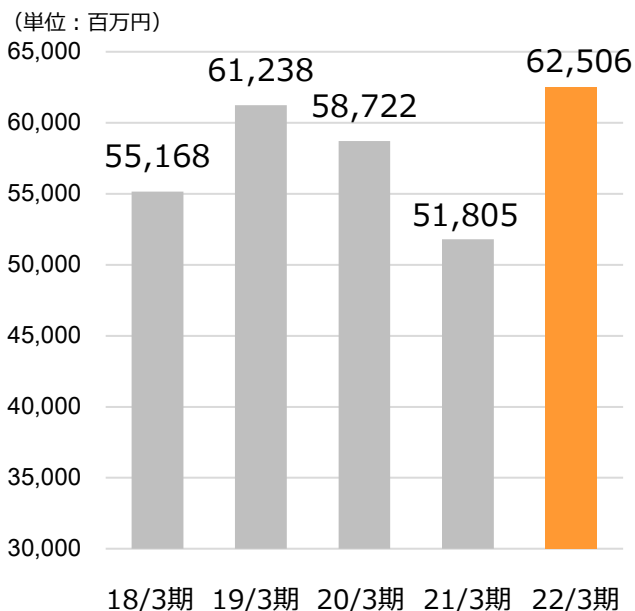
3

参考資料

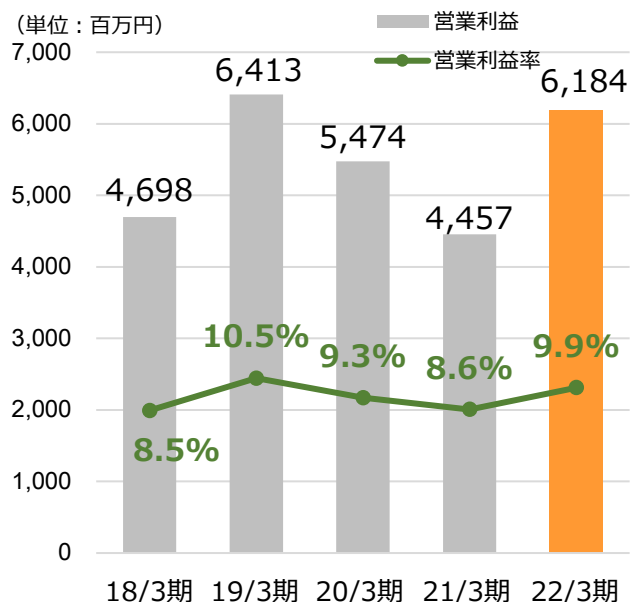
- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 業績・財務情報

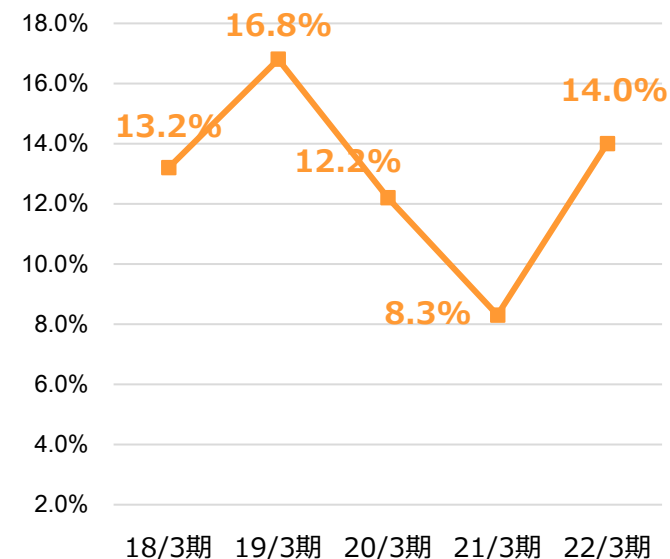
## 売上高



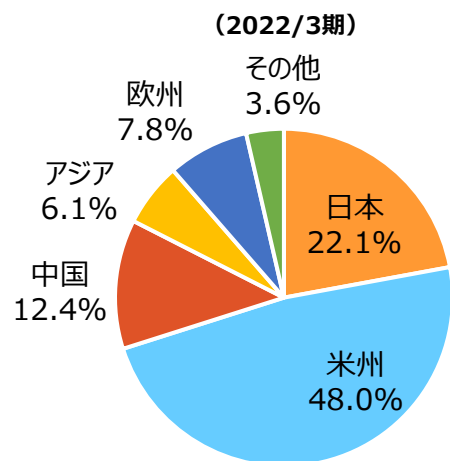
## 営業利益・営業利益率



## ROE



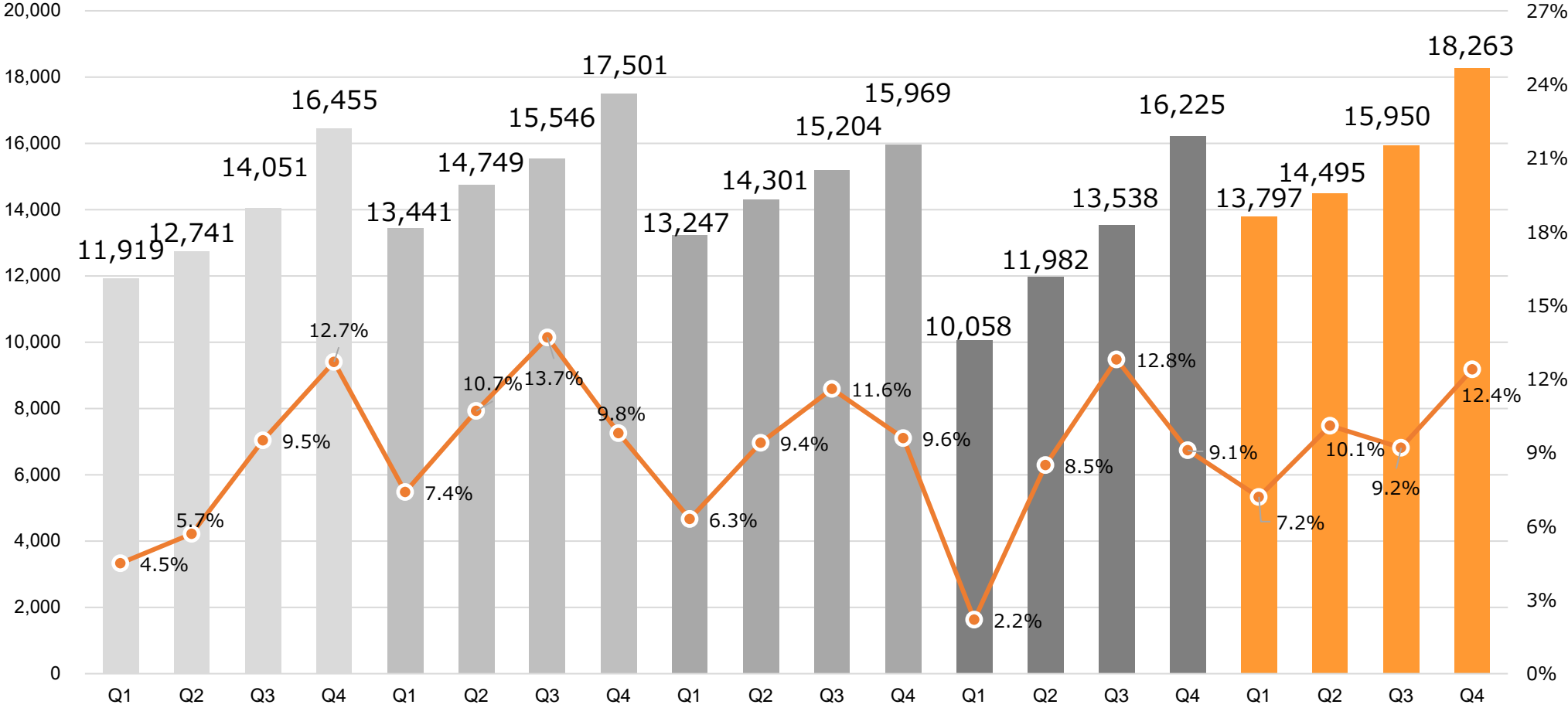
## 地域別売上高比率



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
海外比率	76.0%	73.6%	74.2%	74.9%	77.9%
為替平均レート					
USD	110.9円	110.9円	108.7円	106.1円	112.4円
CAD	86.5円	84.6円	81.8円	80.3円	89.7円
EUR	129.7円	128.4円	120.8円	123.7円	130.6円
RMB	16.6円	16.7円	15.8円	15.5円	17.0円
設備投資額(百万円)	1,411	1,416	1,689	2,504	4,510
減価償却費(百万円)	2,116	2,470	2,711	2,697	2,647

# 売上高 及び 営業利益率 (四半期比較)

(単位：百万円)



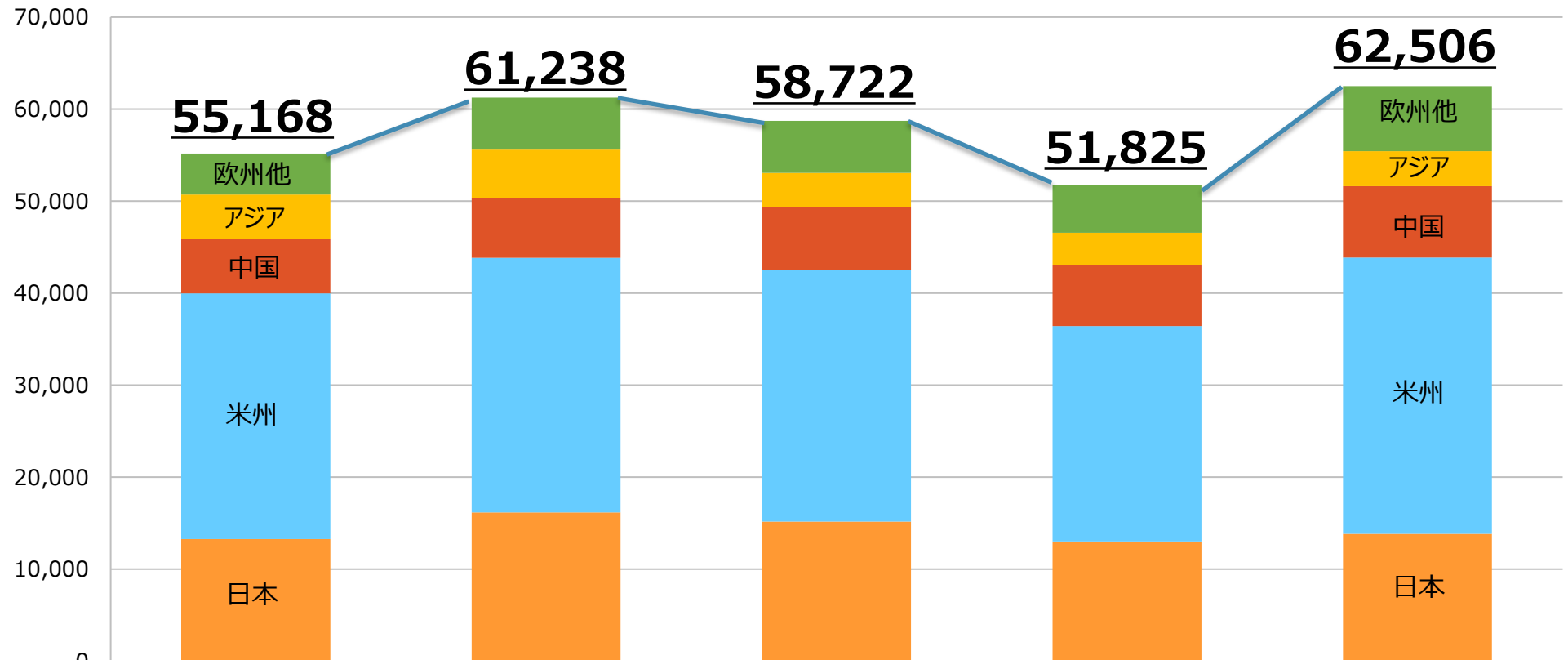
営業利益

538 730 1,338 2,092 992 1,572 2,131 1,717 837 1,339 1,769 1,526 224 1,022 1,728 1,481 992 1,467 1,460 2,265

2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
売上高 55,168	売上高 61,238	売上高 58,722	売上高 51,805	売上高 62,506
営業利益 4,698	営業利益 6,413	営業利益 5,474	営業利益 4,457	営業利益 6,184

# 地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
■ 欧州他	4,465	5,634	5,663	5,239	7,068
■ アジア	4,837	5,239	3,729	3,546	3,823
■ 中国	5,903	6,539	6,822	6,596	7,747
■ 米州	26,700	27,663	27,332	23,409	30,025
■ 日本	13,261	16,162	15,174	13,012	13,841

---

# 事業内容



## モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠な、 マテリアルハンドリング機器の リーディングカンパニー



**経済の発展段階に応じた需要**

**特定の業界の動向に依存せず**

**成熟製品でありながら成長産業**

## ■ クレーン

ホイストとの組合せで3次元の動きを実現



## ■ ホイスト（巻上機）

主力はクサリ（チェーン）式（電動・手動）  
ワイヤロープ式もラインナップ（電動）  
（中国においてはロープ式が主力）



## ■ ビローフックデバイス （吊り具）

ホイストで荷物を吊り上げる際の  
中間アタッチメント



## ■ 各種クサリ製品

運搬・移動・固定・牽引  
船舶、農林業、タイヤチェーンなど



# 顧客ニーズの拡大



## “KITO” = “信頼のブランド”

### 製品力

耐久性	高性能
安全性	操作性

### 技術力

顧客の複雑なニーズへの高い技術対応力（エンジニアリング）

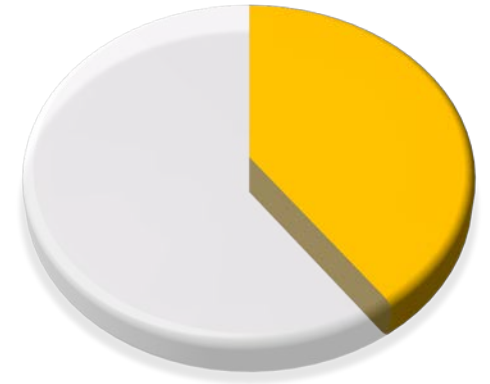
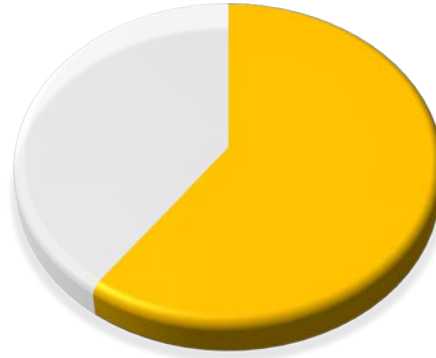
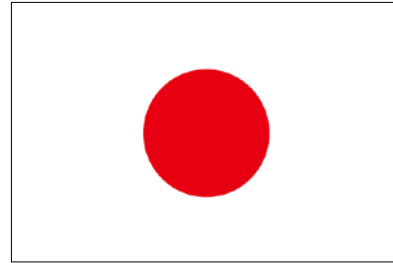
### サービスネットワーク

広範なネットワークによる顧客満足度の高いサービスを実現



高付加価値製品・サービスの提供により差別化を実現  
高品質市場での高い評価

# 信頼に基づく高いシェア

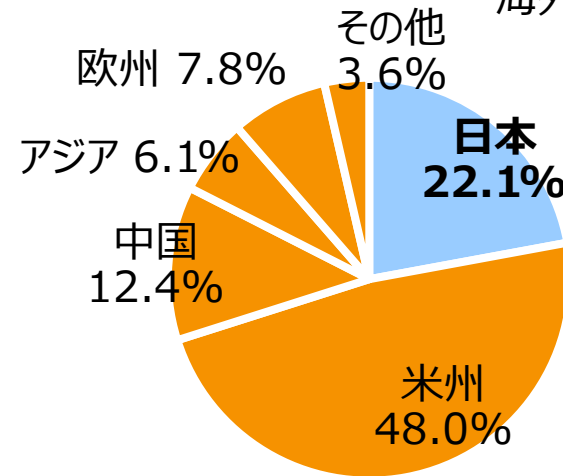
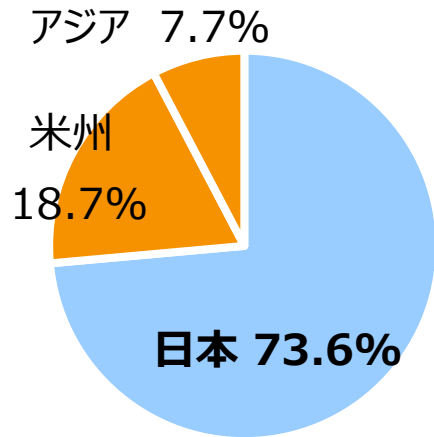


# 海外市場での成長

- 海外市場での成長により、地域分散の効いた事業ポートフォリオ構築
- 特定地域の需要動向に振られることなく、着実な成長を実現

FY2000 売上高227億円  
海外売上比率 26.4%

FY2021 売上高625億円  
海外売上比率 77.9%



単位: 10億円

